

伝統音楽の魅力を探る・レクチャコンサート Vol.7

そう きよく

箏曲はおもしろい

日 時 平成23年10月5日(水)

午後6時30分

会 場 京都府立府民ホールアルテイ

〒075(441)1414

出 演 山田流 萩岡松韻・萩岡未貴・萩岡信乃

京極流 和田一久

生田流 横山佳世子・片岡リサ (出演順)

構成・解説 久保田敏子(京都市立芸術大学日本伝統音楽研究センター所長)

司 会 南端玲子

主 催 京都和文華の会

共 催 真如苑

協 力 立命館大学アート・リサーチセンター

社団法人 京都デザイン協会

NPO法人 京都文化企画室

申込み方法

9月17(土)までに往復はがき
による申し込み(入場無料)

※詳細は裏面を参照してください。

関西から
文化力
POWER OF
CULTURE

文化の感動
京都国文華

箏曲はおもしろい

箏曲は、箏を中心に演奏する音楽です。箏は三味線と並んでよく知られていますが、三味線に比べて遙かに古い歴史を持っています。

日本には、すでに『古事記』の時代から小さなコトがあり、高位の男性の持ち物でしたが、今の箏は、その後、奈良時代に唐の宮廷からもたらされた大型の13弦の箏がその母胎で、平安時代には貴族や寺院の僧侶たちに愛用されました。今もその形状に大差はありません。

今の箏は、17世紀中ごろに平家琵琶や、漸く普及し始めた三味線の名人だった八橋検校(1614-85)が、ふとした切っ掛けで寺院箏曲から発展した筑紫箏を習い、それを基礎にして創始した音楽です。それは独奏で弾き歌いをする「組歌」と、歌のない「段物」でした。

今回は、王朝時代の優雅な面影を残す箏曲の歴史を辿りながら、それぞれの魅力に迫りたいと思います。

まずは箏曲の原点である「段物」から、お馴染みの《六段の調》

をお聞き頂き、次いで「組歌」と「段物」を合体させた幕末の名曲《秋風の曲》を取り上げます。続いては、明治になって箏曲の原点立ち返って、そこに新しい詩を乗せて歌う珍しい「京極流箏曲」から《巖島詣》を、そして、三味線での語り物である浄瑠璃を箏曲に導入した「山田流箏曲」から《須磨の嵐》をお聞き頂きます。

休憩の後は、箏曲界に旋風を巻き起こし、現代邦楽の誕生を促した宮城道雄の作品から器楽曲《ロンドンの夜の雨》と歌曲《秋の流れ》を、そして、この宮城が開発した17弦箏による独奏で、古典曲を現代に蘇らせて変容させた広瀬量平の《みだれによる変容》、最後は最先端の多弦箏・25弦による伊福部昭の《琵琶行》を取り上げます。

● 構成・解説

久保田 敏子 (くぼた さとこ)

相愛女子大学音楽学部作曲学科卒。同研究科音楽学専攻修了。龍谷大、奈良教育大、京都市立芸術大同日本伝統音楽研究センター教授を経て、現在同所長。

出演者(出演順)

● 山田流



萩岡 松韻 (はぎおか しゅういん)

三世萩岡松韻の長男として生まれる。
1980年東京藝術大学在学中に四代目を継承。
2008年東京藝術大学教授に就任。
作曲活動にも力を入れ、歌傳抄他CDのリリースも多数。
文化庁芸術祭優秀賞等、受賞多数。



萩岡 未貴 (はぎおか みき)

四代目萩岡松韻の長女として生まれる。
2007年東京藝術大学邦楽科卒業。
在学中、常英賞・浄観賞・アカンサス音楽賞・同声会新人賞受賞。
2009年同大学修士課程卒業。
現在、同大学博士課程三年在学中。



萩岡 信乃 (はぎおか しの)

四代目萩岡松韻の次女として生まれる。
2009年東京藝術大学邦楽科卒業。
在学中、安宅賞・アカンサス音楽賞・同声会新人賞・中能島賞受賞。
2011年同大学修士課程卒業。

● 京極流



和田 一久 (わだ かつひさ)

大阪生まれ。
1970年、京都大学理学部大学院修士課程修了。在学中福井市の雨田光平に京極流箏曲を学ぶ。
富士電機勤務の後、1985年、三世宗家就任。
2010年第30回伝統文化ポラ賞(地域賞)受賞。

● 生田流



横山 佳世子 (よこやま かよこ)

東京藝術大学大学院修士課程修了。故沢井忠夫、故藤井久仁江、野坂操壽に師事。
2006年~2008年日本伝統音楽研究センター非常勤講師。
平成20年度京都市芸術文化特別奨励者。



片岡 リサ (かたおか りさ)

大阪音楽大学卒業、同専攻科修了。平成13年度文化庁芸術祭新人賞を史上最年少で受賞。
2011年第21回出光音楽賞など受賞多数。大阪音楽大学・同志社女子大学・兵庫教育大学講師。

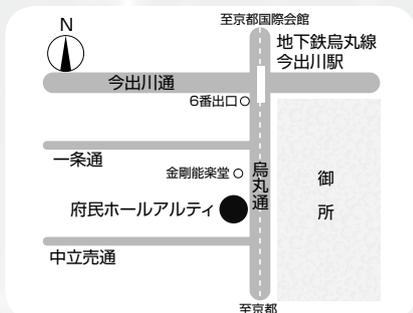
アクセス

府民ホールアルティ

〒602-0912 京都市上京区烏丸通一条下ル龍前町590-1

☎ 075-441-1414

京都地下鉄烏丸線今出川駅下車6番出口から南へ徒歩5分



申し込み方法

● 往復はがきでお申込みください

※応募者多数の場合は、抽選とさせていただきます。
参加の可否は9月24日(土)頃までに返信はがきにてお知らせします。

締切 **9月17日(土)** 当日消印有効

問合せ先：京都和文華の会 TEL・FAX 0774-43-7577
〒601-0033 宇治市大久保町上ノ山51-35

郵便往復はがき ①〒①①①①①① 往復 京都和文華の会 宇治市大久保町 上ノ山51-35	(何も書かないでください)	郵便往復はがき 〇〇〇〇〇〇 返信 氏名 様 ご本人の住所	1.住所(郵便番号) 2.氏名 3.電話番号 4.希望人員 (2名様まで)
---	---------------	--	---

〈表〉

〈裏〉